

これから10年後の活動組織は

らは必要になってきます。
農業主体者の高齢化

山口県農地・水・環境向上対策協議会では共同活動の組織体制の強化について各地区ごとに説明会を開催しています。

山口支部では9月9日に、山口市の本部に40団体151名が集まり、その説明を聞きました。

冒頭に担当者から「今から10年

経った時にはどういう状況になるか考えてみてください」と問いかけられました。多くの団体が切実な問題として直面しているのが現状です。「自分たちの地域は自分たちで守る」という強い意識がこれか

ら必要になってきます。農業主体者の高齢化、農業者と非農業者の混住化の進展、農地だけでなく農地や住居を取り巻く環境を地域民が力を合わせて守っていく必要が出てきます。

数と人との関係、作業の増加、共同作業の負担

八方原の環境を守る会でも、この問題について真剣な検討が必要になっており、10月より役員会でも検討を始めたところです。皆様にもご支援、ご協力をお願いするところになると思いますが、よろしく

お願いします。

県土連の会議場であった説明会、説明を受ける側も真剣（9月9日）



ご苦勞様でした 前期分共同作業日当の支払

平成21年度4月から9月までの環境向上対策活動に対しての日当計算ができました。役員を通じて皆様のお手元に届いたと思います。

今年度の前期の活動は11件となつています。延べ参加人数は208人、日当支払合計は224,350円です。

水路清掃や老人会の奉仕作業のように以前から行っているものを、支援する形のものもありますし、上郷小学校2年生の農業見学への対応、用

水ポンプ取水口への管理通路の整備のように新たなものもあります。

多くの方が、多くの時間を費やす雑草処理についても充分ではないかも知れませんが、時間単価500円の計算となつています。

今後必要な作業を行ってまいりますので、ご協力をお願いいたします。

※日当明細書の一部に誤りがありました。ご迷惑等には変わりありません。

大きなサツマイモがごろごろ

八方原子子ども会では畑に植えたサツマイモを全員で収穫しました。

今回の畑は佐々木康弘さんのお宅の畑をお借りしています。夏からお世話をしてきたおかげで立派に育ち、大きく成長したサツマイモが土の中からごろごろ出てきました。

一番大きなお芋は地域交流センターで行われる文化祭に出品する予定です。

地区によっては畑を確保することが困難なところもありますが、ここは八方原。毎年十分な畑を使わせていただいています。畑の作物が育つ

収穫したサツマイモを手にしてポーズ



袋一杯になったサツマイモを持ち上げる

をお世話するのは大変だけれど、楽しいものです。そんな素敵な場所をお借りできることに感謝したいものです。みんなで掘り上げて、分けたサツマイモ、お家の人に料理してもらえましたか。きつと、最高の味だったでしょうね。

八方原橋の塗装改修が再度延期 八方原区長

水害の復旧が地区内でもまだ続いています。今回の被害の大きさは想像以上でした。市では通常の施設維持管理予算を全て使い果たしてしまい、予定していた計画を殆ど先送りにせざるをえなかったと嘆いていました。

八方原橋らんかん塗装は、次年度以降になることはお伝えしましたが、その代わりに



錆びた橋のらんかん

橋桁部分の継ぎ目の補修は行うことになっていました。ところが、水害関連の復旧に集中させたために、この工事も次年度以降になってしまったことが分かりました。担当者は「大変申し訳ないが、このような事情なので、許していただきたい」とのことでした。残念ながら認めざるをえませんでした。

ゲームを楽しむ「壮年ソフトボール大会」

10月25日、今年度最後の体育行事壮年小郡地区ソフトボールとソフトバレーボール大会が行われました。

当地区では男子の壮年ソフトボールに出場しました。女子は今年度はとうとう参加なしとなり、ちよつと残念でした。

緒戦は明治西地区と対戦。初回の攻撃で先取点を取り、試合の主導権を握ったかに見えました



弁当と飲み物でも、楽しかった試合の話は山盛り

が、すぐに同点とされました。突き放そうとしたが、反対に2点を奪われてしまい、そのままゲームセットとなりました。しかし、応援も選手も元気いっぱい頑張りました。

試合の後の慰労会を、今回はお弁当と飲み物だけの簡素なものとなりました。お世話係の班長さんの負担を軽減することも狙いのひとつでしたが、いかがでしたでしょうか。

菊づくり名人



秋の花の代表格、菊の花。1班の藤田貢さんも菊づくり名人の一人です。今年も大輪が見事に咲いていました。